



リレーエッセイ

# ハードルを越えて

42

## ピースくん & 美涼ちゃん (鶴崎亮さん & 橘菫美涼さん) (霧島市)



最前列 / 美涼ちゃん  
中列左から / ピースくん、美涼ちゃん母、  
前田さん  
後列 / 武さん (FM きりしま)

私たち (ピースくん & 美涼ちゃん) は、パーソナリティの前田美樹さんと3人で、FM きりしまで毎週金曜 11 時 30 分から放送されている『ごきげんだけ! Radio』に出演しています。ピース「1 年半前から始まったこの番組に出演することになったきっかけは、僕たちが利用しているワークショップしんあいの理事長の紹介でした。この番組が始まる前にも、理事長の紹介で FM あいらやケーブルテレビで番組を持たせてもらっていました。」美涼「最初、理事長から『ラジオに出てみない?』と声をかけられたときは不安でした。元々話すことが苦手なんです。でも、自分でできることを見つけたいと思って挑戦することにしました。」

ピース「10 年前に失明し、その頃からラジオを聴いています。昔から話すことが好きで、ラジオを聴くようになり、自分の番組を持つことが夢になりました。言葉って人を元気づける力があると思うんです。目が見えなくなったからこそ、会話しながら探って、相手のことを“想う”ラジオ作りをしています。」美涼「心配なこともありましたが、始めてみたら楽しくなって、話したいことも日常の中で探すようになりました。アンテナを張り巡らして、興味をもってもらえるような話しを心掛けています。今は“リハビリ”という私のコーナーがあるので、ラジオ番組のスポンサーをいただいている霧島リハワーク絆さんと取り組んでいる洋服の脱ぎ着や料理などリハビリの様子を、皆さんにお伝えしています。また、障害がある人も色々な場所へ行けること (ユニバーサルデザイン) をアピールする映像を撮影して、YouTube で紹介するモデル活動も始めました。」

ピース「僕は、糖尿病が原因で 28 歳のときに失明したので、中途障害者ならではの苦労がありました。就労継続支援施設というものを知らなかったんです。失明後、2 年ほど引きこもりになっていましたが、ラジオでしんあいのことを知り、『何かを変えたい!』と思い自分で連絡しました。」美涼「私は、20 歳のときに脳出血で倒れ、弱視と左半身まひになりました。母の友人の紹介でしんあいのことを知り、今はピースくんとにんにくの皮むきをメインで作業しています。」

ピース「今後の目標ですが、視覚障害者の働き先を作るために、ラジオ局を作りたいという夢があります。目の不自由な方ってお話することが好きなんですよ。だったらそういう場を作れば良いんだ!」と思っています。」美涼「私は、リスナーの皆さんに興味を持ってもらえるように、また声をしっかり出すということにも気をつけてラジオを続けていきたいです。」

ピース「NG の質問はないので、どんどんメッセージを送って欲しいですね。心のやりとりをしていきたい。心のバリアフリーを築いていくことが一番大切です。」美涼「お昼前の 30 分間、ぜひぜひ聴いてもらって、たくさんのメッセージお待ちしております!」



『ごきげんだけ! Radio』には、台本がありません。だからこそ、広がる 3 人の素のトークが魅力です。



講演活動にも力を入れていきたいです。白杖を知らない子どもたちに知るきっかけを作りたいですし、障害をお持ちの方と健康な方の架け橋になればと思います。(ピースくん)



出来る事を増やし、自立に向けて頑張っています。また、モデル活動も今後さらに充実させたいです。(美涼ちゃん)

FM きりしま  
〒 899-4332  
鹿児島県霧島市国分中央 3-33-34  
TEL : 0995-73-7070  
FAX : 0995-73-7071



FM きりしまが聴ける無料アプリ  
「FM プラプラ」のダウンロードはこちら

